

浮世絵師 溪斎英泉

蘇る、江戸の媚薬。

KEISAI EISEN

2012年5月29日(火) - 7月8日(日)

■開館時間 = 10:00 - 18:00 [毎週金・土曜日は 20:00 まで]

*入場受付は閉館の30分前まで

■休館日 = 第1月曜日(6月4日、7月2日)及び展示替日(6月18日)

■観覧料 = 一般 1,000円(800円)、大学生 700円(560円)

*小・中・高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

()内は前売、団体20名以上、

および市内にお住まいの60歳以上の方の料金

※前売券は、千葉市美術館ミュージアムショップ(5月20日まで)。

ローソンチケット(Lコード: 39454)

セブンイレブン(セブンコード: 015-067)(7月8日まで)

千葉都市モノレール「千葉みなと駅」

「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて

(7月8日まで)販売。

■主催 = 千葉市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

■協賛 = ライオン、清水建設、大日本印刷

損保ジャパン、日本テレビ放送網

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

浮世絵師 溪斎英泉

溪斎英泉 (1791-1848) は、文化10年(1813)頃より没する嘉永元年(1848)まで、江戸文化が最も成熟された幕末期に活躍した浮世絵師です。英泉が得意とした美人画は、独特の妖艶さを示して強い存在感を放っており、文政(1818-30)中期頃には美人画の第一人者として認められ、多くの錦絵が出版されています。一方で風景画においても多くの作品を手がけ、浮世絵における風景画というジャンルの確立に多大な貢献をした絵師の一人でもありました。さらに趣味人達の求めに応じて制作した摺物、絵具に舶来の藍色(ペロ藍)を導入した意欲的な藍摺絵、力作の多い肉筆画、相撲絵、武者絵、おもちゃ絵、版本挿絵、また文筆もよくし、その活躍は広く多岐にわたっています。



《舟中の男女》大判錦絵 文政(1818-30)前期 千葉市美術館蔵

江戸星ヶ岡に武士の子として誕生、6歳で母を、20歳で父と継母を亡くし、3人の妹を養わなければならないという苦境の中で、さらに江戸詰として仕えていた安房北条藩を讒言によって辞することになり、流浪の末浮世絵師となったという英泉。その波瀾万丈の人生から生まれた浮世絵は、その生き様にも重ねられるようなバイタリティーに満ちています。

この展覧会では、千葉市美術館設立のきっかけともなった館蔵の英泉コレクション(今中宏コレクション)を中心に、主要な所蔵先のご協力を得て、選りすぐりの約350点により浮世絵師英泉の実像に迫ります。

*会期中一部展示替があります。



《田川屋前の芸者》大判錦絵 天保期(1830-44)メーテレ名古屋テレビ放送蔵



《美人会中鏡 時世六佳撰》大判錦絵 文政(1818-30)中期 名古屋博物館蔵



《木曾街道 信濃御領跡 湖水風景》大判錦絵 天保6-7年(1835-36)須賀たばこ協会の博物館蔵



《今桜花鳥風月》大判錦絵 3枚続 天保期(1830-44)神奈川県立歴史博物館蔵

関連企画

■ 記念講演会・市民美術講座 (往復書による申込制)

「英泉の美人大首絵」

6月2日(土) 14:00より(13:30開場) 11階講堂にて

講師: 浅野秀剛 (大和文華館 館長)

定員: 150名 聴講無料 *申込締切 5月23日(水) [必着]

「英泉と江戸後期の化粧事情」

6月16日(土) 14:00より(13:30開場) 11階講堂にて

講師: 村田孝子 (ポーラ文化研究所 研究員)

定員: 150名 聴講無料 *申込締切 6月6日(水) [必着]

市民美術講座 special 「好きな浮世絵、嫌いな浮世絵」

6月30日(土) 14:00より 11階講堂にて

講師: 河合正朝 (当館館長)

定員 150名 聴講無料 *申込締切 6月20日(水) [必着]

【往復書による申込方法】

往復書に郵便番号、住所、電話番号、氏名、参加希望の講演会名、

人数(2名様まで)を明記の上、下記までお送りください。

一通につき一講演のお申し込み。応募多数の場合は抽選となります。

〒260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8

千葉市美術館 英泉企画係

■ イブニング・スライド&レクチャー

夜間開館に合わせて担当学芸員が展覧会の見どころを解説します。

6月1日(金)、6月15日(金)、6月29日(金)の

17:00-18:00 9階講座室

講師: 田辺昌子 (当館学芸課長)

*内容は各回とも同じです。

■ ギャラリートーク

担当学芸員による 5月30日(水) 14:00より

ボランティアスタッフによる 会期中の毎週水曜日

(5月30日を除く)

*水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。

■ 美術館ボランティアスタッフによる

多色摺木版画ワークショップ「江戸を摺る！」

6月24日(日) 10:30 - 12:00、13:00 - 15:30

7階ミュージアムショップ手前 (参加無料)

*気軽な立寄り形式のワークショップで多色摺を体験。

完成した団扇絵などはお持ち帰りになります。

■ 市民美術講座

「藍摺の流行—英泉を中心に—」

6月23日(土) 14:00より 11階講堂にて

講師: 田辺昌子 (当館学芸課長)

先着 150名様 聴講無料

【同時開催】(所蔵作品展)

「モダンガール万華鏡—近代日本の絵画・版画から—」

「浮世絵師 溪斎英泉」展をご観覧の方は無料

【次回展予告】

「夏休み特別企画 どうぶつ大行進」

会期: 7月14日(土) - 9月2日(日)



● 交通案内
 【JR千葉駅東口より】■徒歩約15分■バスのりは⑦より大病院行または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩約3分■千葉都市モノレール県庁前方面行「葦川公園駅」下車徒歩約5分【京成千葉中央駅東口より】■徒歩約10分【東京方面から車では】■京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く■千葉市中央区役所と同じ建物です。*地下に、区役所と共用の機械式駐車場がありますが混雑時はご不便をおかけすることもありますので、公共交通機関での来館をお願いします。

千葉市美術館
 Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8
 TEL:043-221-2311(代表) FAX:043-221-2316
 http://www.ccma-net.jp

